

MORIWAKI BACK STEP KIT

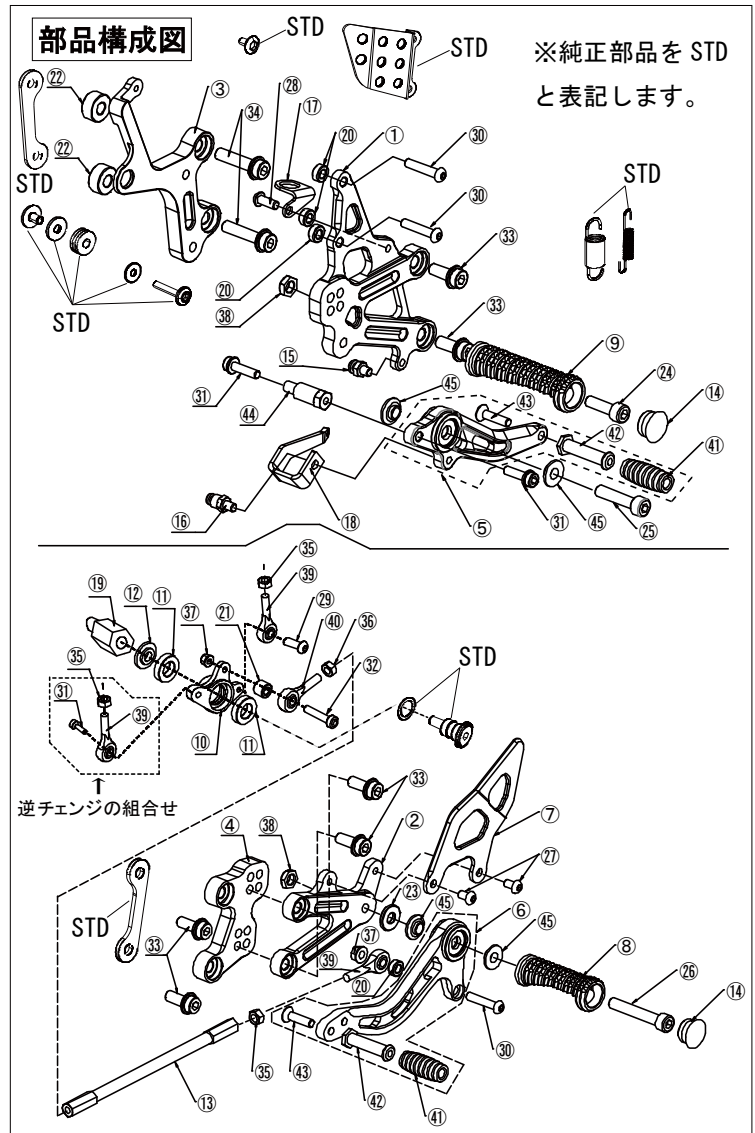
ホンダ '21 CBR600RR

取扱説明書

△作業される前に必ずお読み下さい

【パーツ一覧】

No	部品番号	商品名	入数
1	5001166R	ステッププレート RH	1
2	5001164L	ステッププレート LH	1
3	5010166R	ステップホルダー RH	1
4	5010166L	ステップホルダー LH	1
5	50061661-S	ブレーキペダル	1
6	50060B4C	チェンジペダル	1
7	5003002L	ヒールガード L Type2	1
8	50660-20010-00	ステップバー	1
9	50660-20020-00	ステップバー	1
10	50061642	チェンジリンク	1
11	BBRC0001	ベアリング 6902	2
12	50171620	ワッシャー、チェンジリンク	1
13	00240185	チェンジロッド M6x185	1
14	05150001	キャップ、ステップバー	2
15	50091871	スプリングフックピン、ステッププレート	1
16	500948C1	スプリングフックピン、ステッププレート	1
17	50091630	ステー、ストップスイッチ φ14	1
18	50606-201U2-00	ステー、スイッチスプリング	1
19	50061643	ホルト、チェンジペダルマウント	1
20	A1206050	カラー φ6.2xφ12xL5	4
21	A1206120	カラー φ6.2xφ12xL12	1
22	A2008095	カラー φ8.2xφ20xL9.5	2
23	A2008030	カラー φ8.2xφ20xL3	1
24	CB08025U	キャップホルト 8x25	1
25	CB08035U	キャップホルト 8x35	1
26	CB08050U	キャップホルト 8x50	1
27	BB06010U	ホタンキャップホルト 6x10	2
28	BB06015U	ホタンキャップホルト 6x15	1
29	BB06018U	ホタンキャップホルト 6x18	1
30	BB06030U	ホタンキャップホルト 6x30	3
31	FC06020U	フランジキャップホルト 6x20	3
32	FC06035U	フランジキャップホルト 6x35	1
33	FC08020U	ホルト、フランジソケット 8x20	6
34	FC08035U	ホルト、フランジソケット 8x35	2
35	NT060000	ナット M6	2
36	NT06000L	ナット M6L	1
37	FU060000	フランジロックナット M6	2
38	U308000U	3種Uナット M8	2
39	00JAMR06	ヒロホールオス M6	2
40	00JAML06	ヒロホールオス M6L	1
41	00980001	ラバーペダルノブ	2
42	00060003	ペダルノブ	2
43	SB06025U	テーパキャップホルト 6x25	2
44	50281660	ブレーキマスターピン	1
45	5006B002	ペダルベアリングワッシャー	2



【製品名】 ホンダ 21 CBR600RR バックステップキット
(Parts No 05060-201U2-00)

【仕様】 《適応車種》 車種名 21 CBR600RR

《マフラー》 スタンダード、モリワキ製マフラー

《ポジション》 17mm アップ、 7mm バック
17mm アップ、 17mm バック
27mm アップ、 7mm バック
27mm アップ、 17mm バック

《その他》 正,逆チェンジ仕様
サイドスタンド使用可
純正クイックシフター対応

⚠️ 注意事項

- ① 作業はエンジンが十分冷めてから行って下さい。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
- ② 作業する時は、けが防止のため、軍手を着用して下さい。
- ③ エンジンを運転する場合には、必ず換気の良い場所で行って下さい。
- ④ ステップ取付け時には、プレートの脱落、マスターシリンダーの緩みなどのトラブルが発生しないように各部の締め付けを十分確認して下さい。特にブレーキ周りの取付け不良は、大事故を引き起こす可能性があります。
- ⑤ 装着後、ステップが各部と干渉していないか必ず確認して下さい。
- ⑥ 本製品は出荷時に仮締めしてある部品がありますが、取付け時には、必ず本締めして下さい。
- ⑦ 走行中の振動により、ボルト類が緩むことがありますので、定期的増し締めをして下さい。
特に転倒時には緩みやすくなりますので必ず点検をして下さい。
- ⑧ 本製品は、基本的にスタンダード車両を対象としています。取付け車両にマフラー、スイングアーム、フレーム等の改造箇所がありますと装着できない場合があります。
- ⑨ 不正な取付けによるステップ破損等の返品は、お受けしておりませんのでご了承下さい
- ⑩ 転倒歴のある車両では、フレームのステッププレート取付け部分が曲がり、取付かないケースがありますのでご注意ください。

【準備物】

- 〈工具〉
- ヘキサゴンレンチ 4mm、5mm、6mm 各1本
 - スパナ 8mm 1本
 - スパナ 10mm 2本
 - スパナ 12mm 1本
 - スパナ 13mm 1本
 - ソケットレンチ 17mm 1本
 - スナップリングプライヤー、トルクレンチ、ラジオペンチ、スプリングプラー
- 〈その他〉 軍手、ネジ止め剤、グリス、ウエス

【締め付けトルク】

標準締め付けトルク

ネジ径	N-m	kgf-m
M6ボルト、ナット	10	1
M8ボルト、ナット	22	2.2
M10ボルト、ナット	34	3.5

《1. ポジションを決定する。》

ポジションを決定します。

それぞれのポジションにおいて使用するホルダープレートの取付け穴は右図のようになります。

(FIG. 1参照)

《2. モリワキステップの取付け》

右側ステップ

① 流用するSTD. パーツをスイングステップに付け替えます。

- ※ マスターシリンダー
- ※ ストップスイッチスプリング
- ※ リターンズスプリング
- ※ STD . R側ヒールガード
- ※ グロメットラバー、グロメットカラー

STD. R側のヒールガードをマスターシリンダーとモリワキ製ステッププレートに挟み取付ける。

② 車体にステップを取付ける。

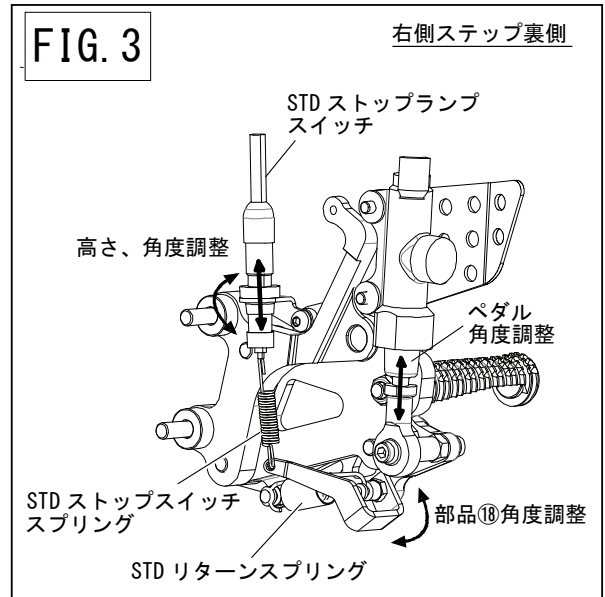
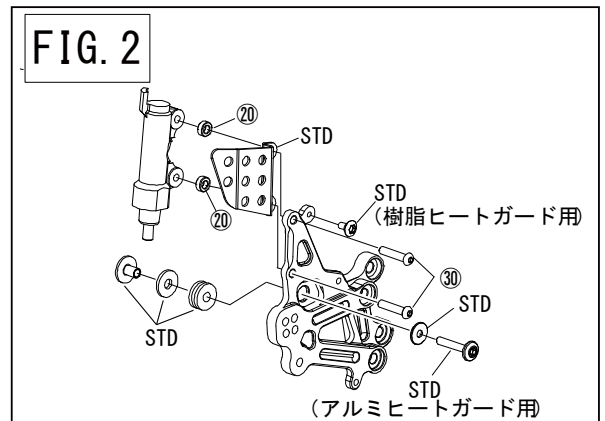
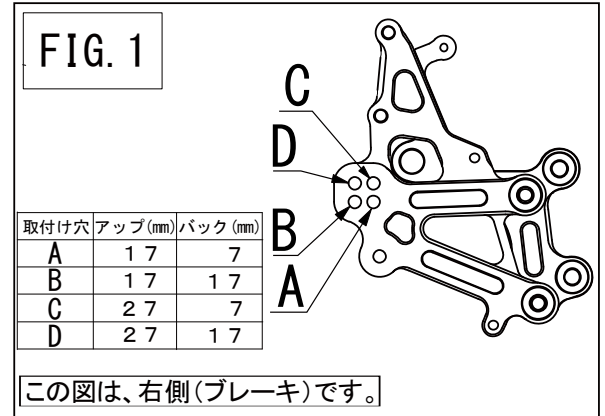
(FIG2、3参照)

作業は、ケガ や事故の無い様に充分注意して行なって下さい。

各部分が干渉していないかチェックする。

ボルト、ナットの締め忘れが無いかチェックする。

特に、ブレーキペダルは、稼働させてブレーキランプが適切に点灯するかチェックして下さい。



左側ステップ（クイックシフターを使用しない場合）

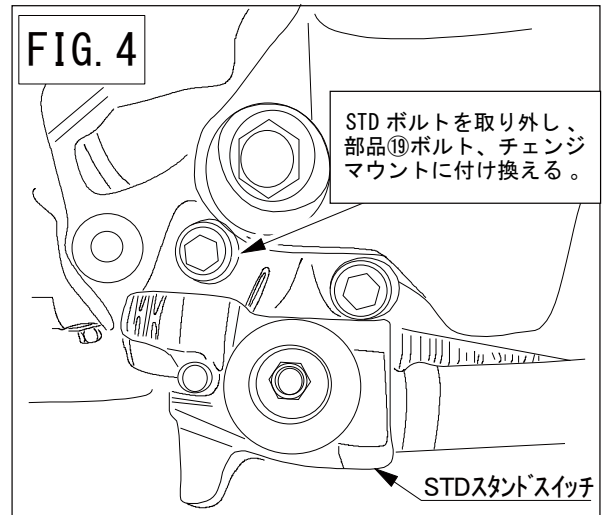
- ① 車体にステップを取付ける。
 車体左側のSTD. 部品を取外します。
 ステップ、チェンジペダルを取外します。
 取り外したボルト及びウエーブワッシャーは再利用
 します。
 サイドスタンド取付けSTD. ボルトを外し、付属の部品⑱
 ボルト、チェンジペダルマウント(モリワキ製)に付け換え
 ます。

(FIG4参照)

ボルトチェンジペダルマウントにチェンジリンクを取付け
 ます。

注意：部品⑱ワッシャー、チェンジリンクを忘れずに！

正チェンジと逆チェンジは取付け位置及び、構成パーツが
 異なります。



チェンジロッドの調整

チェンジロッドをねじ込み、チェンジペダルの高さを調整
 します。ピロボールへのねじ込み量が足りない、あるいは
 多すぎて好みの高さを得られない場合には、チェンジア
 ームの角度を変えて、再度チェンジロッド長さを調整して
 下さい。

注意：正チェンジ時には、FIG. 5に示すカラーと

ナット（ロッド）の静的なクリアランスを12mm以上

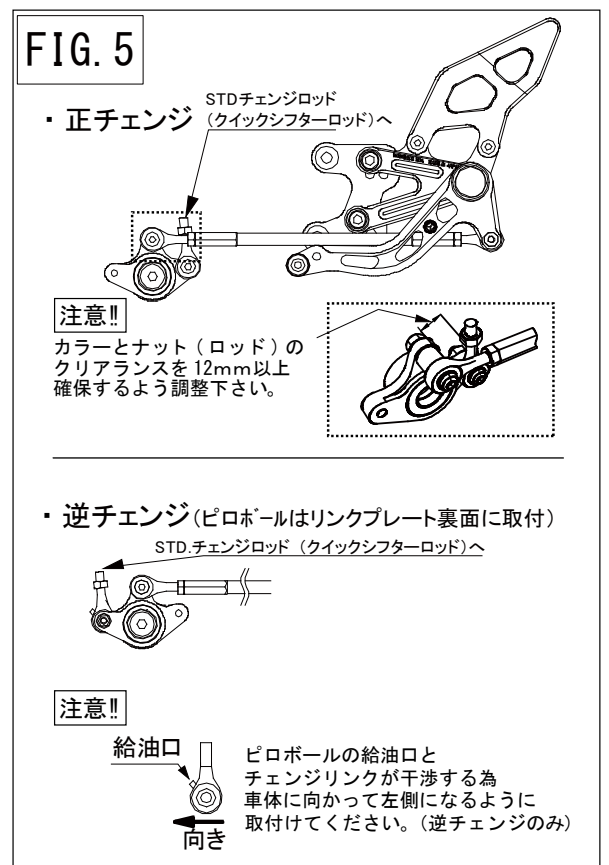
確保するように調整ください。

(部品構成図及びFIG5参照)

各部が干渉していないかチェックする。

ボルト、ナットの締め忘れが無いかチェックする。

特に、ペダル等は、稼動させてチェックして下さい。



左側ステップ（クイックシフターを使用する場合）

- ① Honda二輪純正アクセサリー クイックシフターの取扱説
 明書を参照し、クイックシフター部品を取り付けます。
- ② 上記クイックシフターを使用する場合と同様の
 手順で取付します。

⚠警告

タイロッドボルトとチェンジロッド、両側ピロボールとのねじ込み量をそれぞれ最低6mm（6回転）以上確保して下さい。
 6mm以下になるとネジ山を損傷し、チェンジロッドが外れる恐れがあり大変危険です

⚠注意 チェンジロッド Assy 両端のピロボールを固定する際、ピロボールの動きを妨げない位置に固定して下さい。


《3. 確認》

3. 1 試走前の確認

- ① 干渉している箇所はないか。(特に可動部)
- ② 可動部がスムーズに動くか。
- ③ 各ボルト、ナット類の締め忘れがないか。
- ④ リヤブレーキが正常に効くか。
- ⑤ ストップランプ点灯確認。

3. 2 走行後の確認

- ① 各速へスムーズにシフトできるか。
- ② 各ボルト、ナット類の緩みがないか。

 **注意** 各部に干渉や締め忘れが無いか十分に、ご注意ください

【メンテナンスについて】

ベアリング、ピロボール部の円滑な動きを妨げないように、潤滑には十分気を付けて下さい。
振動によって、ボルト、ナット類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めをして下さい。
特に転倒時には緩みがないか、点検をして下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825三重県鈴鹿市住吉町6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

WEBSITE <https://www.moriwaki.co.jp>